

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 30 年度

市町村名	三芳町			
提案事業名	日本農業遺産をはじめとした地域資源活用促進事業			
事業期間	30 年度	～	30 年度	
事業の必要性、目的	日本農業遺産認定を契機に、町内に広く観光客の誘致を図るための取組を行う必要があり、日本農業遺産について学び、農業を体感する場として日本農業遺産農業塾を運営する。おもてなしの充実に向け、住民と協働した花いっぱいのみちづくりを行う。また、湧き水が湧出する緑地「こぶしの里」を整備し、地域団体が行っているホテル育成を支援することにより、観光客の誘客を行う。			
成果指標	(成果を検証する指標) 三芳町全体の観光入込客数			
	(成果検証の具体的な方法) 町全体のイベント等の来訪者数			
	(上記の指標を設定した理由) 日本農業遺産、ホテル等の観光資源を利用した取組を行うため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (30年3月現在)	8,600人	目標値 (32年3月時点)	9,000人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	広報等			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成29年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① こぶしの里ホテル育成事業	ハード 間接補 湧き水が湧出する緑地「こぶしの里」で地域団体が行っているホテル育成について観光資源として活用を図り、通路を整備し観光客の安全性と快適性の向上により観光客の増加を図る。	3,018
② 日本農業遺産農業塾事業	ソフト 日本農業遺産について学び、農業を体感する場として日本農業遺産農業塾を運営することにより「落ち葉堆肥農法」への理解と認知度の向上を狙い、イベントの拡充や交流人口の増加を図る。	831
③ 花いっぱいみちづくり事業	ソフト 町として観光客へのおもてなしの充実に向け、花苗の配布などにより、住民と協働した花いっぴのみちづくりを行い、観光客の増を図る。	648
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		4,497

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	情報発信等を行い、日本農業遺産の認知度の向上や観光客の安全性と快適性を確保するために、観光通路橋を整備し来訪者を増やす。
成果指標の達成見込み	上記取組を通じ、町外にこれまで以上に情報発信等を行うことによって、成果指標も十分に達成可能と考えられる。